



今月新しく入りました。

●一般の本

／極北クレイマー (作=海堂 尊)／再生 (作=石田衣良)
／楊令伝9 (作=北方謙三)／ゴールデンランバー (作=伊坂幸太郎)
／花々 (作=原田マハ)／運命の人1・2 (作=山崎豊子)
／パラドックス13 (作=東野圭吾)／疑心-隠蔽捜査3 (作=今野 敏)

●子どもの本

／晴れた朝それとも雨の夜 (作=泉 啓子)／ポロポロゆうびん (作=竹下文子)
／ふとったのかなあ (作=大橋重信)／えかきむしのきもち (作=中川洋典)／もぐらくんとなつ (訳=木村有子)

中でもこの本が **オススメ** です。

野菜畑で見る夢は

作=小手鞠るい



恋と野菜の育て方は、同じってこと？ 俺たちの場合、ラディッシュほど早く、収穫できなかつたわけだけども。耕す、いづくしむ、味わう、そしてまた、種をまく。野菜たちが教えてくれた恋の育て方。野菜畑で愛を育む、はじめての野菜恋愛小説。

ふたごのあかちゃんにげたら

作=北川チハル



「やっほー」と「うふふ」は生まれたばかりの双子の赤ちゃん。でも、ただの赤ちゃんではありません。ふたりはスーパーツインベビーズ！ある日、動物園からトラが逃げ出したと聞いて、なんとトラ探しに……もちろん、お父さんとお母さんには内緒でね。

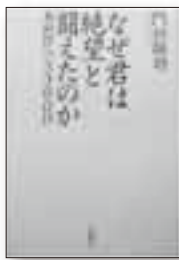


ライオンのしごと

作=竹田津 実

舞 台はタンザニアの草原。コビエと呼ばれる大きな岩の下で開かれた動物裁判の様子。訴えられたのはライオンの母親。ヌーの子。訴えられたのはライオンの母親。ヌーの母親がライオンに殺された。両方の弁護士がよんだ証人たちの話。朝から始

まった裁判が終わり、裁判長が判決を言い渡す。動物たちは、それぞれに「いい裁判だった」といいながら帰って行く。なぜ、いい裁判だったのか？そこに立っているイチジクの木は、たたくことを知っていた。



なぜ君は絶望と闘えたのか

作=門田隆将

光 市母子殺害事件の当事者。本村洋さんの三千三百日を追った記録である。司法への義憤を抱え、時に死すら考えながら、長き日々を苦闘し続けた一人の青年が、どのように絶望を乗り越えることができたのか？裁判員

制度が始まり、誰もが裁く側に回る可能性がある今、あらゆることを考慮して公正な裁判を下さなければいけない。感情に流されずに中立の立場を貫けるかどうか。そんなことを考えさせられる一冊である。

春の桜、夏の花、秋の紅葉、冬の雪……。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。6月は「裁判」をテーマに2冊の本をご紹介します。紹介者は由衛久子さん(鞍手町文庫連絡会)です。





ADVICE Health



足の裏のほくろは悪くなると聞きますが本当でしょうか。(50歳・男性)

皮膚には様々な腫瘍(できもの)ができます。

皮膚は内臓と違い直接私たちが観察できる場所です。ちよつと前までなにもなかったところに黒いもの、茶色いもの、青いもの、赤いものなど新しく何かが出来たという事はなかったでしょう。皮膚にはいろいろなできものが生じます。多くは良性のできものですが、なかには悪性(癌、肉腫)であることがあります。また湿疹でも赤くなるのでできものと区別がつきにくい場合もあり少し変だと思つたら皮膚科、形成外科の受診をお勧めします。

足のほくろは悪いのか？

よくテレ

ビの健康番組などで足の裏のほくろは悪性だ、というような放送がされたあとに心配になつて受診をされる方が増えますが大半のものは良性です。しかし時にいわゆる悪性のほくろ(悪性黒色腫…あくせいこくしよくしゅ)である場合があります。



この腫瘍は白人に多く、我々黄色人種では少ないとされていますが紫外線との関係がいわれており徐々に増加傾向にあります。特に黄色人種では足の裏に多く

みられます。この腫瘍は一般の方がみても最初はほくろ程度にしかみえないこと

があり放っておくと進行し、全身に転移して死亡することもあります。そのため、「ほくろ」といつても悪性の場合があるから気をつけるようにとテレビで放送されています。たとえば小さい頃からあるほくろで長年変化がないようなものは一般的には悪性になる可能性は低いと思われる

す。少し大きいほくろ、中年以降にできたほくろ、ほくろの部分がみるみる大きくなつていく場合は悪性の可能性がありますので専門医と相談してください。

鞍手町立病院で皮膚科形成外科診療を始めました。

4月より毎週木曜日の午前に産業医大病院形成外科医師が診察を開始しました。形成外科は主に皮膚領域の外科的手術を専門にしており、やけどや傷跡、皮膚の腫瘍等の治療が専門です。皮膚科一般診療もいたしますので今日の特集のような内容等気軽に受診され



少し大きいほくろ、中年以降にできたほくろやほくろの部分
がみるみる大きくなっていく場合は悪性の可能性があります
ので専門医と相談してください。

【アドバイザー】



三宅 伸完さん・みやけ ただひろ・平成18年産業医科大学卒業卒業後、宗像水光会総合病院、熊本労災病院を経て、現在は同大病院勤務。
毎週木曜日に鞍手町立病院、皮膚・形成外科に勤務。28歳